

Title	鈴木公雄名誉教授追悼記念講演会講演録
Sub Title	Memorial addresses for the late emeritus Professor Kimio SUZUKI
Author	阿部, 祥人(Abe, Yoshito)
Publisher	三田史学会
Publication year	2006
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.74, No.4 (2006. 3) ,p.113(433)- 113(433)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20060300-0113">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20060300-0113</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 鈴木公雄名誉教授追悼記念講演会講演録

### 鈴木公雄名誉教授著作目録

慶應義塾大学および考古学、歴史学界において、きわめて大きく多様な足跡を残こした鈴木公雄氏は、壮絶な闘病生活の末に、二〇〇四（平成一六）年一〇月他界された。同氏は、本塾を卒業後若くして助手として勤務、その後四〇年の長きにわたり文学部において研究と教育に極めて熱心に携わってこられた。研究、教育のいずれの面においても、その手法は斬新かつ独創的なものであり、多くの学生・後進が慕い薫陶を得た。

また、学界においても同氏の打ち立てた、先史考古学、歴史考古学上の数々の業績に対する評価は極めて高いものばかりであった。ことに、縄文時代の土器、貝塚などに関する研究は、海外でも高い評価を得、氏の著した考古学の概説書は、隣国でも翻訳されて今日なお多くの読者をもつ。さらに、晩年に全力を打ち注がれた出土銭貨に関する歴史考古学的研究は、ユニークな研究スタイルによって新たな境地に上り詰め、熟成の域にかかっていた。しかし、その道半ばにして逝かれたことは、はなはだ無念であり、誰よりもご本人が悔やまれたことであろう。文学部民族学考古学専攻では、そうした鈴木公雄氏の研究と教育の跡を辿り、氏の冥福を祈ろうと、ご命日にあたる昨二〇〇

### 鈴木公雄名誉教授追悼記念講演会講演録

五年一〇月二十二日「鈴木公雄名誉教授追悼記念講演会」を企画、開催した。ここでは、氏にゆかりの後進・縁者三名による「私の鈴木公雄論」が公開講演された。

鈴木公雄氏が、文学部内の旧史学科において長く活躍されたこと、さらに当三田史学会での発表・著述のみならず、会の運営にも大きく貢献されていた点にも鑑み、ここに当日の講演録、および氏の著作目録を掲載させていただく次第である。

（民族学考古学専攻・阿部祥人）

### 私の鈴木公雄論①

安藤広道

はじめに

今年の六月二十二日に、鈴木先生の最後の著作、『考古学はどんな学問か』が出版されました。この本は、先生ご本人が企画されたもので、私も論文の選定の段階から一部お手伝いをさせていただけおりました。先生は、この本の出版を見ることなく、昨年の今日、他界されましたが、八月に先生が入院される前に、掲載論文がほぼ決まっておりましたし、書き下ろしの原稿も揃っていましたので、残された我々も、それほど大きな苦勞なく出版までこぎつけることができました。

先生は、この本の出版に、特別な思いを抱かれていたようです。この本が、ただの著作集ではなく、あるしつかりとした目的をもって編まれたものであるということは、「あとがき」を